

八重山 教育情報

第6号

発行：沖縄県教職員組合
八重山支部
石垣市登野城7-2
官公労共済会館2階
TEL: (0980) 82-3264
E-mail: otu-y@cosmos.ne.jp

沖教組定期大会終わる！

沖教組第四十八回定期大会が六月三十日に豊見城中央公民館で行われ、二〇一一年度の総括と二〇一二年度の運動方針が採択されました。八重山支部からは十名の代議員が参加しました。

支部からは三名の方が討論に参加し、第一号議案では「八重山の教科書問題とその後について」、第二号議案では「管理職によるパワハラの実態について」「複式学級への非常勤講師の加配について」の発言がありました。

教科書問題では、現在進行中の裁判の行方を見守りながら教科書についての学習会を定期的に行っていること、管理職のパワハラについては、前任校で管理職からパワハラを受け学校へ行けなくなった事実、組合の対応の不満もあつたが周りの先生方に支えられ復帰できたこと、複式学級へは非常勤の加配があり、助かっているがいろいろ制限があり困惑していることなどが発言されていました。

何かあつたら本部・支部へ相談できる体制を大切にしなければと実感させられました。

大会宣言

私たちは本日、豊見城市中央公民館において沖教組第48回定期大会を開催し、2011年度とりくみの総括を行い、2012年度の運動方針を決定した。

2011年3月11日に発生した東日本大震災は未曾有の大災害となり、日本の社会基盤や生活を根本から見直すことを余儀なくされた。特に福島第一原発の放射能事故は、チェルノブイリ並みの「原発事故レベル7」の深刻な事態に発展し、今なお多くの住民が避難生活を余儀なくされている。にもかかわらず、6月14日に政府が決定した大飯原発再稼働は、何の科学的な安全基準も示されず、絶対容認できるものではない。今後「反原発・脱原発」の運動を推進し、省エネ・クリーンエネルギーによる社会生活を進めなくてはならない。

一方、普天間基地は「SACO合意」から16年間たっても、返還は一向に実現しない。世界一危険とされる普天間基地に、今年に入って4月11日モロッコ、6月13日米国フロリダにて墜落事故を起こしている「オスプレイ」強行配備は絶対許せない。今年4月27日に発表された「日米共同声明」では、普天間補修費の日本負担を明記し、「普天間基地の固定化」を示唆する内容で、負担軽減とは名ばかりである。辺野古「V字滑走路」案を日米政府で決定することは、県民の意志を踏みにじるものであり断じて許せない。さらに、新防衛大綱計画による南西地域への自衛隊増強や「PAC3」の強行配備に対して強く抗議する。私たちは憲法9条の理念のもと、軍事同盟である日米安保条約に反対し、全ての軍事基地の撤去をめざすものである。

学校職場を取り巻く情勢も厳しさを増している。ここ数年、沖縄県の教職員の「病気休職・精神疾患発生率」が、全国ワースト1の記録を毎年更新し続けている。新学習指導要領が完全実施となり、小学校からの英語導入・授業時数増・中学校の武道必修・愛国心教育の強制、教職員評価システム、教員免許更新制、学力向上対策なども絡まって、現場の管理強化・多忙化はますます深刻な状況になっている。また、昨年からの会計検査院調査による「不適切勤務・給与返還」問題は、教職員の研修権、働き方・組織への攻撃ととらえて組織をあげて対処する。

また、「公務員制度改革」の時期が迫っている。公務員組合への労働基本権付与、人事院勧告制度の見直し、年金支給年齢引き上げと再任用制度・定年延長など大きな課題が山積している。これらの課題を解決するために、労働協約締結権付与ともなう団体交渉を考え、職場単位での組合組織率の過半数確保が絶対的な条件になる。沖教組は2009年度の新規加入は251名・2010年度415名・2011年度286名と、確実に新規加入を増やしてきている。2012年度は500名以上の新規加入を目標とし、早い時期に組織率過半数組合を達成しなければなりません。

国の政局は解散総選挙をにらみ混迷を増している。今後の政局・政界再編次第では、一気に憲法改悪の動きが表面化する恐れがある。今一度、私たちは憲法の崇高な理念を学び直し、教育の中に憲法を生かすとりくみを進め、全ての護憲を願う勢力と共に幅広く連携した運動を強化し、憲法改悪を絶対阻止しなければならない。

私たちは、「教え子を再び戦場へ送るな」という永遠の誓いを再確認し、沖教組の強化・発展をめざし、これら教育課題の解決や平和な社会の建設に向けて、全力で立ち向かうことを決意し、第48回定期大会において宣言する。

2012年6月30日
沖縄県教職員組合第48回定期大会



討論に参加された代議員の
皆さん！

加入目標 300名
現加入者 159名
新加入者 9名

ソウル
魂において頑固
マインド
心において柔軟
スピリット
精神において活発

自衛隊による「やいまふれあいコンサート」開催に
反対する声明

2012年6月17日に石垣市総合体育館にて予定されている自衛隊による「やいまふれあいコンサート」開催に強く抗議します。今年3月から4月中旬に至るまで、八重山地域は、北朝鮮の「人工衛星」発射・PAC3 配備騒動に巻き込まれ、住民は不安な日々を過ごすことを余儀なくされました。

結果的に私たち住民側には、人工衛星発射直後の情報は、一切伝えられることなく、政府・自衛隊のみが情報を占有し、PAC3 配備の建前である「住民の安全を守る」が偽りであり、「住民より自衛隊組織優先」の姿を自ら晒けだしました。

私たちは、主たる任務にあたらぬ自衛隊による災害救助活動が、被災者・被災地等にとって大きな助けになっている事実を否定するものではありません。しかし、自衛隊の本質は武力を保持する軍隊であることには変わりなく、また、何においても優先される主たる任務は軍事力の行使であることも事実です。

私たちは、これまで自衛隊による空港、港湾等の使用、演奏会等の開催に再三再四にわたり抗議を申し入れてきました。「ふれあいコンサート」の真の目的は、与那国島への自衛隊部隊配備や先島地域全体への配備への住民の抵抗感を和らげるための懐柔策の一つであることは、疑う余地もありません。

国境に隣接した私たちの住む島々に必要なものは、自衛隊配備ではなく、外交による他国との積極的な交流であり、そのことこそが島々の住民のくらしや経済を活性化させるものであります。

よって、私たちは、自衛隊による「やいまふれあいコンサート」の開催に強く抗議するとともに、先島地域への自衛隊配備に断固として反対する意志をここに表明するものです。

2012年6月15日
平和憲法を守る八重山連絡協議会

[宛先]

内閣総理大臣、防衛大臣、陸上自衛隊幕僚長、
陸上自衛隊第15旅団長



宮良ルリ講演会

六月二十四日(日)に市民会館大ホールで「おきなわ戦から六十七年・島はほんとに平和なの?」と題して宮良ルリさんの講演会が行われました。「子どもの未来を考える会」「教え子有志の会」が開催しました。

「師範学校に入ったからには一度でいいから子どもたちに勉強を教えたかった」「両親に卒業証書、教員免許を見せたかった」と言い残した学徒隊の方の話をされ、「夢を実現できない」「したいことができない」「それが戦争なんだ。いまは平和であるから好きなことができると強調されていました。

中学生や高校生には是非聞いてほしい内容でしたが参加が少なかったことが残念でした。

私たちは音楽を否定してはいませんが、音楽を利用して音楽が許せないのです!

6月15日に抗議声明を出しました!
音楽を利用して自衛隊を八重山に入れようとしている人たちは、自分たちの利益しか考えていまいのではありませんか!
子どもたちの未来をどうするつもりでしょうか!

東日本大震災で被災された皆さまへ
このたびの震災で被災された皆さまに
謹んでお見舞い申し上げますとともに、
一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

がんばろう東日本

来月も、1年後も、
子どもたちの
笑顔のために。

口座振替による震災遺児たちの進学支援
あしなが育英会
東日本大地震・津波遺児募金

震災遺児たちの進学支援のための、ろうきんからの提案

あしなが育英会とは	震災などで親を亡くした子どもたちを物心両面で支える民間非営利団体です。国からの補助金・助成金は受けず、すべて寄付金で運営しています。寄付の半数以上は個人の方からです。	お家さま	個人・法人
あしなが育英会 東日本大地震・津波 遺児募金とは	東日本大震災で親を亡くした子どもたち(震災遺児)を支援するために、あしなが育英会が設置した募金です。	ろうきん	東日本大震災・津波被災者支援(任意)
寄付金は	東日本大震災で親を亡くした子どもたち(0歳から大学生)への「特別一時金」(奨学金「進学支援の資金」)「心のケアを行なう活動」(ケアプログラムの運営費等)に使われ、震災遺児たちの笑顔に役立ちます。	あしなが育英会に寄付	個人・法人・団体(任意)
		震災遺児一時金給付・奨学金を貸付	

あしなが育英会 <http://www.asinaga.org> ※あしなが育英会は民間団体のため、寄付金控除の対象ではありません。ご了承ください。

沖縄県労働金庫 お客様相談デスク
TEL 0120-602-040 (受付時間:10時~18時)
FAX 098-862-0400 (沖縄県内専用ダイヤル)

沖縄県労働金庫

東日本大震災で
両親を亡くした児童生徒のために
できることをはじめませんか!
くわしくは労金八重山支店へ!